

科目コード	E2115	科目名	初等社会				
履修区分	選択	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	佛園弘修						
授業の概要	小学校社会科の中学年・高学年の教科内容について、専門の見地から講義を行う。必要に応じて、フィールドワークや文献研究も行う。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 小学校社会科の教科内容について専門の見地からの理解を深める。						
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間、印刷資料を配布し、資料の読解を行うとともに、本時の学習問題の探究やワークショップを行います。 ・ 配布資料については、予備の配布は行いませんので、紛失等をした場合は、各自の責任において他の学生からコピー等をしてもらってください。 ・ ICTを活用しながら、主体的で対話的な学修を進めてください。 						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修				
	1	小学校社会科中・高学年の内容の概要（学習指導要領・小学校社会科教科書）/オリエンテーション	自己紹介の準備				
	2	小学校社会科の地域学習(1)：広島市を中心とした地域の特徴（地理的特色）	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	3	小学校社会科の地域学習(2)：広島市を中心とした地域の特徴（産業的特色）	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	4	小学校社会科の地域学習(3)：安全で健康な地域生活のための仕組みと取組	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	5	小学校社会科の地域学習(4)：広島県の特徴（地理的特色）	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	6	小学校社会科の国土学習(1)：我が国の地理的特色	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	7	小学校社会科の地域学習(2)：我が国の近隣諸国を中心とした世界の地理的特色	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	8	小学校社会科の産業学習(1)：我が国の農業・水産業の特徴	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	9	小学校社会科の産業学習(2)：我が国の工業の特徴	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	10	小学校社会科の環境学習(1)：我が国の国土保全についての概要	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	11	小学校社会科の環境学習(2)：我が国の公害の歴史と生活環境を守る仕組みと取組	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	12	小学校社会科の政治学習・国際理解学習(1)：我が国の政治の働きについての概要	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	13	小学校社会科の政治学習・国際理解学習(2)：世界中の日本の役割	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
	14	小学校社会科の歴史学習(1)：我が国の狩猟・採集時代から武士の世の終焉までの概要	学習指導要領と授業内ワークの予習と復習				
15	小学校社会科の歴史学習(2)：明治時代から現代までの概要	講義の振り返り					
成績評価方法	授業内で記入するコメントシート60%、討論や観察の内容と主体的なかかわり40%。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	小学校学習指導要領解説 社会編 （文部科学省/日本教出版株式会社）					978-4-536-59009-9	
	社会科教科書「新しい社会（3～6年）」（北叡夫，小原友行/東京書籍株式会社）						
参考書	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 令和6年度版（帝国書院）						
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校社会科教科書や広島市小学校社会科副読本に取り上げられている教材についての事前学習をしておくこと。 ・ 日常的に新聞・テレビのニュースに興味・関心を持ち、その背景について考えておくことが望ましい。 						
教員との連絡方法	直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。						
実務経験のある教員	公立小学校の教諭・教頭・校長の勤務経験及び教育委員会の指導主事の経験を有する。						